

イクメンパパ ~子育て奮闘中~



神足篤彦さん

下松小学校区在住

子ども 男子 2歳

- Q1** 子どもが生まれた時のパパの気持ち？
 (小さかったので) これから、大きくなるように父親として面倒見ていかないといけないあと責任を感じました。
- Q2** どのようなパパ育児をしていますか？
 お風呂に入れたり、寝かしつけたり、おむつを替えたり、何でもします。
- Q3** 育児の中でうれしいこと、大変なことは？
 「ママ」と言葉が出るようになったり、神様にお参りできるようになったりするなど、できなかったことがひとつひとつできるようになっていくことがうれしいですね。
 やりたいことを、何でも好きにさせてあげたいけれど、危ないこともあるので、行動に制限をかけることもあり、心苦しいなあと感じています。
- Q4** パパからママへ
 ママへ …… 日頃からお世話が大変でしょうけど、身体をこわさないでください。
 子どもへ …… 健康に。どんどん大きくなってください。

ぜひにちは
 下松市青少年育成協議会です

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。

下松市青少年育成協議会では、毎年、「家庭の日」家族ふれあいの集いとして、小学生の家族を対象とした体験行事を開催しています。これまで、和太鼓体験教室やなぎなた体験教室、いもづくり体験などを開催し、毎年多くの皆さんにご参加いただいています。

家庭は、子どもたちが社会性の基本を身につける場であると同時に、心安らく大切な場所です。家族の形や生活スタイルが多様化し、家族で過ごす時間が少なくなっている現代においては、意識的に家族でのふれあいを大切に工夫する必要があります。各家庭においても、毎月第3日曜日を基本として、毎月1日以上は家族で「家庭の日」を設定し、行事、スポーツなど家族と一緒に過ごす時間を持ちましょう！



親子なぎなた体験教室 (令和2年度)



親子和太鼓体験教室 (令和3年度)

皆様からの情報をお待ちしております。

下松市教育委員会 生涯学習振興課 星の子ネット
 shakyou@city.kudamatsu.lg.jp (担当: 吉開・藤本)

お電話・ファックス・メールでもどうぞ
TEL.0833-45-1870
 FAX. 0833-45-1865

募集

星の子ネット
 ボランティアスタッフ

取材や情報誌編集など
 私たちといっしょに
 活動してみませんか？

詳しくは下松市教育委員会 生涯学習振興課 星の子ネットまでお気軽にお問い合わせください。

～春だねえ 笠戸へ遊びに行こう～

瀬戸内海国立公園内にある笠戸島は、変化に富んだ海岸線と豊かな自然に恵まれた島です。1970 (昭和45) 年に笠戸大橋ができる前は、本土と笠戸島は巡航船がつないでいました。

1712年(正徳2年)に朝鮮通信使が、江戸に行った帰りに深浦・本浦の港で1週間あまり過ごしたという記録が残っています。良い港があったんだね。

掲載の写真の他にもビュースポットがたくさんあるよ、さがしてみね。

星の子ネット情報誌

ねえ

2022 春
 Vol.42

名前はキラッ
 だよ



さてどこかなあ？

- 1 白浜
- 2 笠戸島 菜の花と河津桜ロード
- 3 深浦八幡宮
- 4 笠戸島家族旅行村
- 5 夕日岬
- 6 まさの墓



ティラノサウルスとトリケラトプス
 がお出迎え



1970年に完成。赤い色の橋が印象的だね



下松市で製作された機関車だよ



海の中の鳥居。めずらしいね



海上遊歩道



海の中での散歩を楽しんでね



干潮時だけ渡ることができる岩(小島)



サイコロの中がトイレだよ



大きなクレーンだね

【小学校社会科副読本「わたしたちのきょうと 星ふるまち下松」の地図を改編】

笠戸島家族旅行村 みんなで行ってみよう!

県道笠戸島線から家族旅行村の入口に入り、木漏れ日の中、くねくね道をあがっていくと数分で大きなスクルー&イカリがお出迎え。

ここには、オートキャンプ場、サンセットケビン、バーベキューガーデン、足湯などの施設があります。そして、ここは何より下松市街地、太華山、笠戸湾を一望できる絶景スポットなのです。

春には河津桜や菜の花も目を楽しませてくれ、すぐ下には、はなぐり海水浴場や海上遊歩道があり、見どころ満載。春夏秋冬、季節ごとに行ってみよう。



スクルー&イカリ

眺望も素晴らしいオートキャンプ場

旅行村からの絶景

サンセットケビン 家族で眺めてみよう

バーベキューガーデン

足湯

笠戸島の夕日にうっとり!

笠戸島から見る瀬戸内海の島々の間に沈む夕日の美しさは知られていますが、季節によって沈む太陽の大きさ、色、場所が違います。特に冬の時期は水面がキラキラとオレンジ色に染まり、いっそう美しくなります。

夕日岬は西日本でも有数の夕日の名所として知られています。ぜひ色々な夕日を楽しみにお出かけください。



外史公園付近から



海上遊歩道付近から



すっぱくて あまい 笠戸島産レモンを知ってる?



笠戸島特産品開発グループが、無農薬で愛情をこめてレモンを育てています。毎年植え付けを行い、現在160本程度のレモンの木があり、収穫量も年々増え続けています。笠戸島の休耕地を活用し、地形や気候を生かした栽培で、地産地消に取り組んでいます。

青いレモンは、収穫時期を早めたレモンで、甘さとすっぱさをかねそなえています。香りが強いのが特徴です。生レモンやレモンサイダー、レモンエール、笠戸ひらめエリアの素にも使用されています。



令和3年10月の収穫



Mさん

果汁を冷凍して一年中楽しんでます。ギョーザのタレに使ったり、フライにそえたりするとおいしいです。酢物、南蛮づけにもおためしください。農薬は使っていないので、皮まで食べられるよ。



「孝女まさ」は、笠戸島生まれ!

まさは、1762(宝暦12)年に深浦に生まれました。家は大変貧しく、7歳の頃から野山や海岸で働いて家計を助けました。

大きくなってからも、朝は海辺で魚や貝をとり、昼は田畑をたがやし、枯れ木を拾い、やとわれの仕事もし、夜は父母の体をさすり、父母が眠ってからぞうりを作り、縄をない、翌日の仕事の準備をして眠りました。

母が目の病にかかった時には、治るのを願って船で妙見宮へ21日間の願かけのお参りをするなどし、その親孝行ぶりが世間で評判となって、藩主からたたえられました。

1860(安政7)年に99歳で生涯を閉じましたが、時の藩主が自然石で建てた墓が、現在も深浦に残っています。また、1897(明治30)年に人々がまあの遺徳をたたえて建てた顕徳碑が、末武公民館そばにあります。



まさの肖像画



まさの顕徳碑



まさの墓

[下松市 郷土資料・文化遺産デジタルアーカイブより]